

港湾・沿岸域における風力発電推進研究会H15年度事業計画書

1. 基本方針

本研究会では、港湾・沿岸域において、風力発電施設の導入に向けての諸問題を把握し、環境にやさしい港湾づくりの一環とした港湾・沿岸域における風力発電の導入促進を目的として、産官学の連携により風力発電に関する情報を共有しつつ、環境面および技術面などの課題の検討を行っていくものである。

2. 研究事業

1)環境・海域利用分科会

①環 境

環境に関する研究では、風力発電施設による海洋生物への影響評価を行い、影響が有る場合の軽減対策および評価手法の整理を行う。

また、海上に風力発電施設が立地される瀬棚町において現地調査を行う。これらの成果に基づき、将来的には環境マニュアルの作成等について取り組む。

②海域総合利用に関する調査研究

海域総合利用に関する研究では、港湾関係施設や漁業関係施設、その他への風力発電の利用方策についての検討を行う。また、公有水面開発等の法規制、助成制度、申請手続き等についての整理を行う。

③適地の選定

適地に関する研究では、風況データのデータベース化等、風力発電の導入に際して必要となる条件の整理を行う。また、将来的には風力発電施設の導入に関連する計画マニュアルの作成等を行う。

④景観について

景観に関する研究では、周辺環境との調和を目指した風力発電施設の景観評価の検討手法の整理等を行う。

2)建設技術分科会

①構造・材料について

構造・材料に関する研究では、構造や材料による建設コストの縮減や洋上における基礎構造の研究、設計条件の整理を行う。

②施工技術について

施工技術に関する研究では、基礎、本体のコスト縮減を目指した施工技術の検討やケーブール等の系統連結施設の施工方法の検討を行う。

③その他

施設のリニューアル手法、メンテナンスの方法や発電施設本体も含めたサポート体制の検討、また、建設時における既存インフラの利用方法やライフサイクルコストの検討等を行い、将来的には技術マニュアルの改訂も行う。

3)洋上実証試験分科会

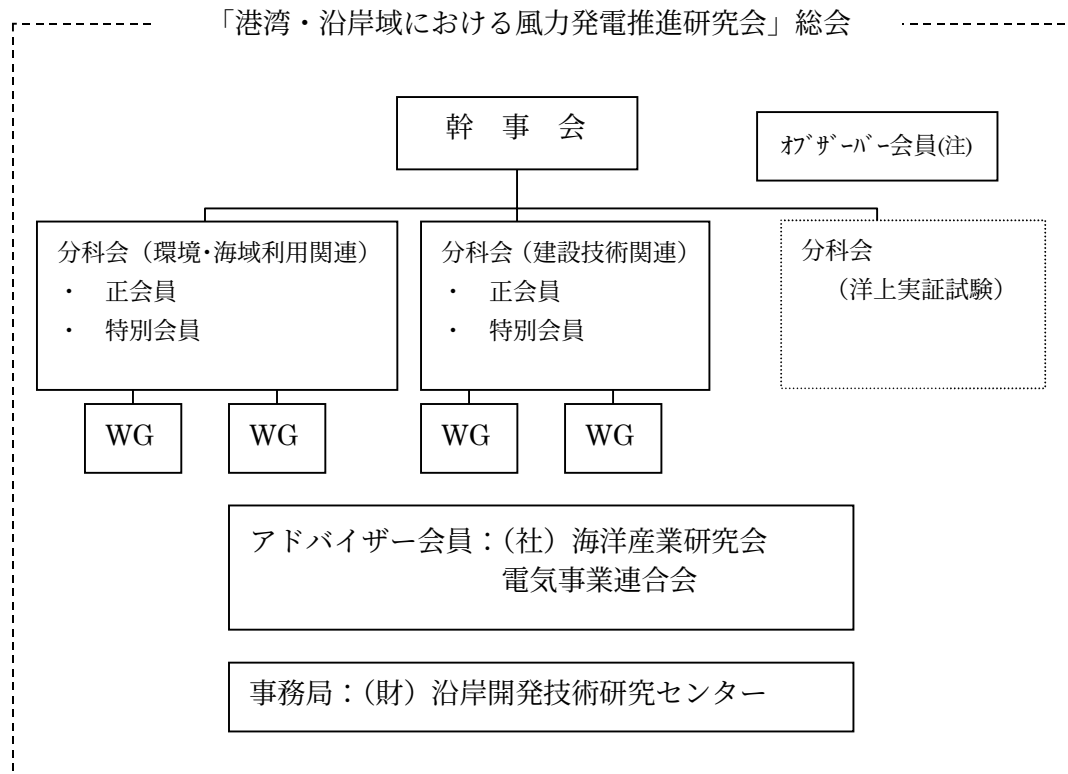
洋上実証試験分科会は、環境・海域利用分科会、建設技術分科会の進展や洋上候補地の調整状況により分科会を組織し、実証実験により外力を評価し、また、外力と風力発電施設の挙動、環境面での調査等を総合的に行うための調査計画の策定や実証プラントの設計・施工計画の策定を行う予定である。

4)調査研究計画工程(平成15年度研究案)

項 目	平成15年度													平成16年度
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月		
準 備														
総 会						○							○	
幹事会							○				○		○○	
環境・海域利用分科会						○			○			○	○○○	
現地調査WG														
海域総合利用WG														
建設技術分科会						○			○			○	○○○	
構造WG														
施工WG														
洋上実証試験分科会													— — — —	

(研究は平成16年度に継続)

3. 運営体制



(注) オブザーバー会員：国土交通省港湾局，経済産業省資源エネルギー庁，
港湾管理者，地方公共団体等

1)総 会

- ・組織全体の調整を役割とする。
- ・本研究会に関係する者すべてを招集。
- ・平成15年9月4日開催。

2)幹事会

- ・業務全体の調整を役割とする。
- ・各分科会から，数社を互選により選出。
- ・平成15年10月上旬および平成16年2月下旬開催予定。

3)分科会

- ・当面，環境・海域利用，建設技術の2分野について設置する。
- ・正会員は，環境・海域利用もしくは建設技術分科会のどちらかに所属する。
- ・平成15年9月中旬，12月中旬および平成16年3月上旬に開催予定。
- ・各分科会の下にWGを設置して，調査研究を実施する。